



# 倉敷・いのうえ、「エヴァホール」 「ファミリエ」を同一エリアに相次いで開設

エヴァホール水島



他社の葬祭会館をリノベーションして移転オープンした「エヴァホール水島」



100人前後の一般葬が可能な大式場。通常は会食室とに2分割され、40人前後の家族葬に対応可能（写真左）。  
小式場に隣接する和室控室の小上がりを備える会食室（写真右）

大式場に隣接する控室2室（写真左、中）と、ゆったりとしたエントランスロビー



ファミリエ水島



エヴァホール水島だった会館をリブランドした「ファミリエ水島」

80人ほどの一般葬にも  
対応可能な式場

エントランスロビー（左）とデザイン祭壇



「エヴァホール」「ファミリエ」の2ブランドの葬祭会館を展開している（株）いのうえ（本社岡山県倉敷市、社長井上峰一氏）は、同一エリアに2ブランドの会館をほぼ同時期にオープンした。

まず、9月20日に「エヴァホール水島」を開設。水島臨海鉄道栄駅から車で3分ほどの、県道428号倉敷西環状線の交差点に位置する。同会館は、他社会館であったものを、エヴァホール仕様にリノベーションしたものだ。もともと、同地から1km弱離れた地でエヴァホール水島として2001年3月から営業しており、今回は移転オープンとなる。

20日、21日に催されたオープニングイベントには、1,000人が来場し、お菓子の詰め放題やフリーマーケット、抽選会、フラワーアレンジメント教室などを行なったほか、事前相談にも対応した。

敷地面積1,803㎡、延床面積552㎡、鉄骨造平屋建ての同会館は、最大100席ほどの大式場と15席ほどの小

場を有す。

100席の大式場は、通常は式場と会食室に2分していることから、15人前後、40人前後の家族葬から、100人前後の一般葬まで幅広い需要に対応できる。エントランスも分けているため、時間をずらしての1日2施行も可能。施行件数は年間100件を目標とする。

一方、10月11日には「ファミリエ水島」を開設。敷地面積499㎡、延床面積397㎡、鉄骨造2階建て。今回移転したエヴァホール水島をリニューアルしたもので、エヴァホールとしては規模が小さかったことから、ファミリエにリブランド。最大80席の式場を備え、ファミリエブランドではあるが、今回はあえて家族葬を全面に打ち出さず、さまざまなニーズに応えていく方針で、初年度50件を目標に、エヴァホール水島とのシナジーを発揮させていく。

同社の葬祭会館は、ファミリエブランド4会館、エヴァホールを含めたグループ全体では17会館となった。